

としよしつだより 11月

西原小学校
R7.10.24

あさばん すず 朝晩、涼しくなり、ひ も 短 くなってきました。「読書の秋」にぴったりです。10月27日から全国読書週間が始まります。

全国読書週間とは、10月27日から11月9日までの2週間、読書の素晴らしさに、多くの人に触れてもらい、読書の習慣を身に付けてもらいたい、という考えのもと読書を推進する行事が集中して行われる期間のことを言います。



にしはらしょう

西原小でも11月10日から21日まで秋の読書週間があります！

イベント 1 「POP」の作成

読書週間のイベントの1つとして「POP」を募集しています。

※ 4年生以上は、タブレットでの作成もできます。

- 手がきの場合・・・書き方や材料については図書室の入口にならべてあります。
- タブレットの場合・・・図書室のクラスルームから入ります。応募したい人は図書室の先生に伝えてください。



イベント 2 「秋探しクイズ」



秋の食べ物や、植物に関するクイズを行います。正解するとガチャガチャにチャレンジすることができます。どんな賞品がゲットできるか楽しみにしてください。

※ クイズの詳しいルールや賞品については、後日連絡します。

イベント 3 「読み聞かせ」



先生方による読み聞かせがあります。どの先生が来るでしょう？そして、どんなお話をしてくれるでしょう？楽しみにしてくださいね。

イベント 4 「クラス対抗本の表紙パズル」

貸出数の多い本の表紙（分類ごと）をパズルにしました。クラスごとに、業間や昼休みに3冊借りると本の表紙のパーツが1枚もらえます。どのクラスの表紙が完成するか競争です。

どくしょたから しゅうりょう
「読書宝くじ」が終了しました！



どくしょたから かいさい がつ としよしつ
「読書宝くじ」の開催で、10月の図書室
は大にぎわいでした。（延べ人数360人）
みなさん、何が当たるか楽しみですね。
31日に当選発表予定です！

ほこしゃ 保護者のみなさまへ

なつやす あきやす うちどく いそが なか たいへん せ わ
夏休みや秋休みの家読では、お忙しい中、大変お世話になりました。
こんかい ちゅう こうがくねん うちどく かんそう しょうかい
た。今回は、中・高学年から家読の感想を紹介します。



3年生

『名前のないねこ』を読んで

◎児童

「名前のないねこ」は、友だちがいて、みんな名前があるからうらやましそうにしていたけど、さいごは、かいぬしさんができて、名前をメロンと名づけた話です。いつかはできてほしいことができるんだなと思いました。

◎保護者

名前がある事自体ではなく、その名前を呼んでくれる人がいることが幸せなんだというメッセージがとても奥深かったです。



4年生

『オンチの葉っぱらららら』を読んで

◎児童

だれにでもとくいなことで、とくいじゃないことがあるということを感じた。自分ができないことをバカにすることはいけないことだと思った。物語の主人公のようにとくいなことを生活に活かしたらいいなと思った。

◎保護者

人間には得意なことと不得意なことがあるが、それを受け入れて、補い合って生きていくことが大切だと感じました。物語の登場人物も、キツネの魔法でそのことに気づき、これから思いやりをもって生きていってくれると思います。娘も得意なことを伸ばし不得意なことを受け入れて、おもいやりをもって生きてほしいです。



5年生

『生き物がつくる美しい家』を読んで

◎児童

生き物によってちがう家を造って、いろいろな場所に造られていることがわかりました。特に「カヤネズミ」の巣がすごいと思いました。水の上に巣を造って、てきからおそわれないようにしているところが、とてもすごいと思いました。

◎保護者

一度は目にしたことがある光景が実は生き物の巣だった！というおもしろい発見があり、大人も楽しめる本でした。



6年生

『西遊記』を読んで

◎児童

西遊記が全くのつくり話ではなく、事実と交えてつくられた小説ということが意外で驚きました。三蔵法師は実在する玄奘をモデルとし、玄奘の記した『大唐三蔵取経詩話』をもとにされていることが分かり歴史への理解が深まりました。また、悟空たちがやらかした罰として三蔵法師を守るうちに、言葉遣いが変わり、最後には、仏や羅漢になって認められたところが印象的でした。

◎保護者

西遊記は、子供の頃繰り返し読んだ大好きな本です。登場人物のユニークな性格や楽しいお話に気付いてもらえてとてもうれしく思いました。たくさん本を読んで自分の宝物となる本を見つけてほしいです。

